

## 第256回 番組審議会

1. 日 時 平成28年10月11日 (火) 12:00～
2. 場 所 メトロポリタン盛岡NEW WING 3F「星雲 東の間」
3. 委 員 委員総数 9名  
出席委員数 9名 (欠席委員数 0名)

### ○ 出席委員 (敬称略)

鈴木 厚人 (委員長)  
九萬原 敏巳 (副委員長)

—以下50音順—

石田 征広  
加藤 裕一  
久慈 浩介  
菅原 正二  
升田 久美子  
八木橋 伸之  
役重 真喜子

### ○ 会社側出席者 (8名)

藤澤 利憲 (代表取締役社長)  
小原 忍 (取締役副社長)  
藤原 銀司 (常務取締役)  
前田 秀男 (取締役技術局長)  
工藤 浩 (取締役東京支社長)  
高嶋 昇 (取締役営業編成局長)  
青田 優 (編成部長)  
庭田 康宏 (めんこいエンタープライズ制作部主任)

### ○ 事務局 佐々木 久仁子

4. 議題 『岩手めんこいテレビ開局25周年記念  
平泉世界文化遺産登録5周年記念 特別番組  
如意輪講式～秀衡の母願う平和への思い～』  
平成28年10月7日（金）19:00～19:55

5. 議事概要

今回は、10月7日放送の「岩手めんこいテレビ開局25周年記念 平泉世界文化遺産登録5周年記念 特別番組 如意輪講式～秀衡の母願う平和への思い～」を審議しました。議事の概要は、以下の通りです。

●岩手めんこいテレビ編成部長 青田プロデューサーからの説明

・この番組は、平泉世界文化遺産登録5周年記念事業として中尊寺で850年ぶりに復元された如意輪講式を岩手めんこいテレビ開局25周年記念番組として、初の超高精細4Kカメラで撮影し、ダウンコンバートして10月7日のゴールデンタイムに放送した。10月23日からは、NTTぷららで4K配信を予定している。

・金色堂をはじめとする文化遺産を4Kで収録し自社のライブラリーにできたことは財産。また、如意輪講式に述べられていることは現代社会に通じるものであり、「ゆたかさ」「幸福とは」ということを視聴者が改めて考えるきっかけになればと考えている。番組のPRスポットは、通常の15秒に加えて60秒、30秒タイプを制作。これは宣伝的見地の他に「この事業の主意に賛同し、めんこいテレビで番組を制作しエリア視聴者へ発信します」という広報的、CSR的な見地もあった。

●めんこいエンタープライズ制作部主任 庭田ディレクターからの説明

・この番組は、中尊寺の僧侶や有識者の協力のもとで制作した。如意輪講式は、藤原氏三代秀衡の母が、平和や幸福を願い京都の僧侶に依頼して作ったもの。850年前の法要の復元ということで、関係者も手探りで準備をしていたと聞いた。

・如意輪講式は、いわゆるお経に節がついたもの。練習は、御詠歌衆、僧侶、それぞれで行われており最後どのような形になるのか想像できなかったが、全体練習を見て驚き、率直に心が洗われた感じがした。唱える声や歌詞から何かを感じてもらえればと思っている。

#### ●出席した委員からの意見

・古文、漢文が苦手なこともあり、はじめは良く分らなかったが、生で見たらすごいだろうということは伝わった。

・850年ぶりに復元するものを世界文化遺産登録5周年に合わせて、しかも4Kで制作しアーカイブに残したことは素晴らしいと思う。

・新たな切り口で平泉を捉えた点も評価できる。

・講式というものが何で、どういう場面でどういう時によまれてということが具体的にイメージできない。「お経に節をつけて」といったようなことをもっとテロップ等で対応し、我々の目線まで下りてきてほしいと思った。

・この番組は、いいところを捉えていて資料として後世に残ると思う。ハーモニーにありがたみがなく音楽的にまだまだだが、今後練習して、修行して50年もすれば歴としたものになる可能性がある。

・如意輪とは何か、お経の意味の説明、お経を読み下す時に何を苦労したのか等、普通の人にもわかるように解説してもらおうと感激が伝わると思う。

・如意輪講式の復元が、どれだけの価値があって宗教的にどういう意義があるのかが不明確だった。

・平泉の観光客の入込数が減っているなので、平泉や如意輪講式が意義あるものだということが外に伝える形で発信してほしい。

- ・ナレーションがワイドショーのようで、しっくりこなかった。
- ・形ある文化遺産のほか、目と耳に訴える心に残る文化も残していかなければならない使命があると思った。
- ・「如意輪講式～秀衡の母願う平和への思い～」というタイトルだとスルーしてしまうのではないかと。「歌に込められた」とか「歌」という具体的な文字を入れた方が良かったのではないかと。
- ・世界遺産とは、登録されたことで研究が進み私達と一緒に成長していくものかなと感じさせられ、その取り組みが素晴らしいと思った。
- ・「母の願い」というタイトルがあったが、「戦乱の世にあって平和を願った母の存在」に結びつける具体的なものが無く残念だった。それがあれば、最後の「科学は万能ではない」「紛争が絶えない現在」というところに繋がったように思う。
- ・後半、歌詞が出ていたが意味が判らずフラストレーションが貯まった。歌詞の対訳が欲しかった。
- ・パソコンで見たが、4Kで見れば臨場感が違いコンサートを聴いているような感じが出てくるかもしれないので4Kを見たいと思った。
- ・臨場感と雰囲気は没頭しようと思ったが、しょっちゅうカメラマンが動いたり、ライトがあつたりで最後まで没頭できなかった。
- ・平泉の観光客が減っているとのことだが、発信すればプラスの要素を含んでいる番組だと思った。

6. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置

特になし

7. 審議機関の答申意見概要を公表した場合におけるその公表内容、方法及び年月日

※平成28年10月12日(水) 産経新聞 東北版

※平成28年10月23日(土) 午前4時12分から4時15分まで「めんこいテレビ番組  
審リポート」として放送。

※据え置き書類を作成し、本社受付に置き一般の人々が自由に閲覧できるようにした

8. その他の参考事項

特になし

※次回は、平成28年11月15日(火)12時より 当会場にて開催予定です。